



## 今年への期待

日本銀行甲府支店長  
三木 徹

明けましておめでとうござい  
ます。山梨県経営者協会の会員の皆様  
におかれましては、輝かしい新年  
をお迎えのこととお慶び申し上げ  
ます。

今年も、企業経営に大きく影響  
する制度の変更が目白押しです。  
四月には、同一企業内における正  
社員と非正規社員（パートタイム  
労働者、有期雇用労働者、派遣労  
働者）の間の不合理な待遇差の解  
消（但し、中小企業のパートタイ  
ム労働者・有期雇用労働者は来年  
四月）や、中小企業における時間  
外労働の上限規制が実施されます。  
六月末にはキャッシュレス決済利  
用時のポイント還元が終了しまし  
が、マイナカードを活用し  
た消費活性化策が九月から来年三  
月まで実施される予定です。大企  
業の法人税等の電子申告も二〇二  
〇年度から義務化されます。自家  
用乗用車取得時にかかる税（環境  
性能割）の税率軽減（▲一％）は

九月末までに取得した人、住宅ロ  
ーン減税の控除期間延長（十年一  
十三年）は十二月末までに入居し  
た人が対象です。消費税を含む総  
額（税込価格）の表示を要しない  
特例措置も、二〇二〇年度末で終  
了します。これらがコスト増や売  
上減の要因としてのみ受け止めら  
れるのではなく、生産性の向上や  
経営体制の見直し、消費者への訴  
求方法の工夫など、新たな取組み  
のきっかけとなることを期待して  
います。

日本経済の見直しについて、日  
銀の最新（昨年十月末）の「経済・  
物価情勢の展望」では、海外経済  
の成長ペースの持ち直し時期の遅  
れや消費税引き上げの影響等を  
受けつつも、二〇二一年度につい  
て、均してみれば潜在成長率並み  
の成長を続ける、としています。  
潜在成長率とは、景気変動の影響  
を均してみた「平均的な供給力」  
の成長率のことです。労働、資本（機  
械・設備、建物、ソフトウェア等、

全要素生産性（イノベーション）  
により決まります。現在の潜在成  
長率は年率〇％台後半（日銀推計）  
ですが、今後、政府による成長戦  
略の推進や、そのもとでの女性や  
高齢者による労働参加の高まり、  
企業による設備投資や生産性向上  
に向けた取組みが続く中で、二〇  
二一年度にかけて緩やかな上昇傾  
向をたどる、としています。私は、  
潜在成長率が低い究極の要因は、  
全要素生産性の伸びが年率〇・二  
％台（日銀推計）と低いことにあ  
り、その引き上げが重要と考えて  
います。厚生労働省による昨年の  
公的年金の財政検証でも、全要素  
生産性の伸び率アップが前提と  
なっています。

今年の干支は「庚子」（かのえね）  
。「庚」（かのえ）は、植物の成長  
が止まって新たな形に変化しよう  
とする状態。「子」（ね）は、種子  
の中に新たな生命がきざし始める  
状態という意味で、新しいことに  
チャレンジするのに適した年のよ

うです。日本でカラーテレビの本  
放送やインスタントコーヒーの販  
売が開始され、スリランカで世界  
初の女性の首相が誕生したのも（一  
九六〇年）、日本初の公衆電話が  
設置され、世界で初めて量子力学  
の基礎となる法則が発見されたの  
も（一九〇〇年）、庚子の年です。  
今年も、5Gの実用化や量子コン  
ピュータの研究など、既に予見さ  
れていることが進むだけでなく、  
更に新しいことが生まれそうです。  
し、男女格差のない職場環境の構  
築に向けて、具体的な取組みが大  
きく進む予感がします。山梨県が  
日本の中で先頭を切って、イノベ  
ーションにより新しい付加価値を  
次々と生み出していくとともに、  
男女とも仕事で活躍し、家庭生活  
や育児とも両立しやすい職場や企  
業が増えることにより、地域が発  
展していくことをご祈念申し上げ  
まして、年頭のご挨拶とさせていただきます。